



## ハンディ型 UV-C 除菌装置

# UVeem



(国法)神戸大学 UV 光源応用実証研究科と共同開発した

UV-C 光源を搭載しており、強力な除菌を確認できました。

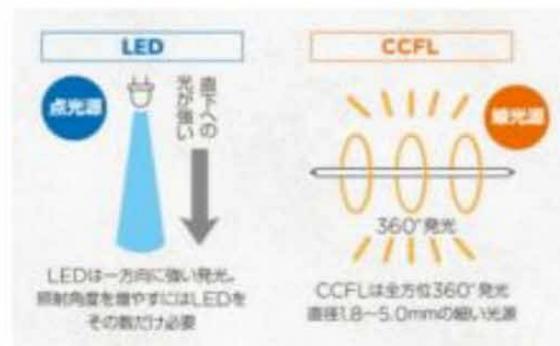
# ハンディ型 UV-C 除菌装置

【UVeem】

## 特徴:CCFL 紫外線(UV-C)による除菌

- ・薬剤を使用しないため、引火性も無く電子機器や布製品にも安全な除菌方法となります。

- ・CCFLは線光源であり、LEDの点光源に比べ  
1つのデバイスで広範囲の除菌が可能です。
- ・CCFLの寿命、光強度は、LEDと同等であり  
コストメリットも得られます。



## なぜ除菌できるのか？

- ・紫外線は、細胞のDNAが持つ情報を離すことにより菌を減らし  
増殖を防ぐことが出来ます。  
※UV-C (254nm) は、既にJIS化されておりDNAを破壊する強い除菌効果です。

## 除菌力比較

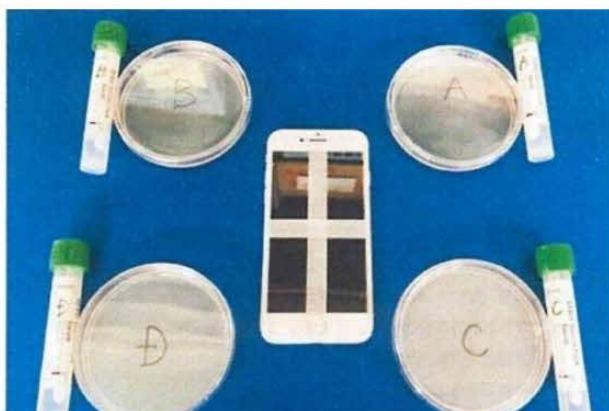
アルコール消毒液などによる除菌効果と比較しても、圧倒的な瞬間除菌  
を実現するのが、本製品の『紫外線 UV-C による除菌』です！

| 除菌効果のある製品        | 必要時間   | 除菌効果のある製品       | 必要時間    |
|------------------|--------|-----------------|---------|
| 紫外線光源 (CCFL・5cm) | 1秒以内   | アタック高浸透リセットパワー  | 10分以内   |
| かんたんマイペット (原液)   | 60秒以内  | アタックZERO        | 10分以内   |
| クイックルワイパー (絞り液)  | 60秒分以内 | エタノール (濃度50%以上) | 60秒以内   |
| トイレマジックリン (原液)   | 60秒分以内 | エタノール (濃度30%以下) | (不活化不可) |

出所：学校法人 北里研究所 (<https://www.kitasato-u.ac.jp/jp/news/20200417-03.html>)



## 除菌効果の検証



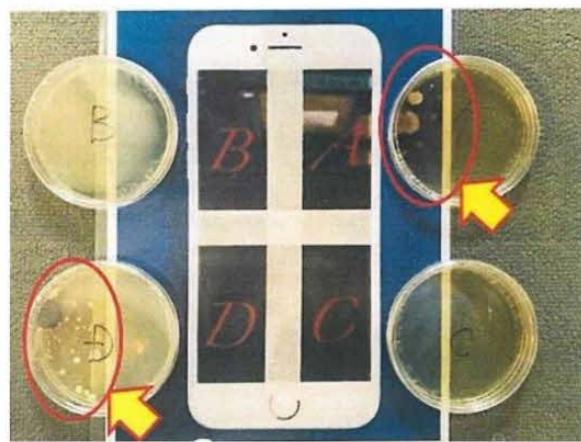
『A』と『D』のエリアは 紫外線照射前に採取。  
『B』と『C』のエリアは 紫外線照射後に採取。



紫外線照射



結果



【結果】 紫外線照射したエリアでは細菌の採取はできませんでした。

『除菌効果◎』 !!!

UV-C光源でウイルスの  
**強力な除菌効果**

※照射距離5cm 1秒照射で  
99.9%の除菌を確認

国立大学法人神戸大学 UV 光源応用実証研究科と共同開発した  
UV-C 光源を搭載しており、**強力な除菌力を確認できました。**

本商品には、



マークがついた製品となります。



UV光源応用実証研究会登録商標

このマークは、UV光源応用実証研究会において開発した  
紫外線光源を搭載した商品を表すマークです。  
新型コロナウイルス感染防止への正しい取組を支援し、新し  
い生活スタイルの確立に向けて情報発信を行うことを目的と  
しております。



電話  
03-3  
834-  
1276



会精三  
社株協  
式電

H T T  
P : / / W  
W W . 3 K  
Y O U . J  
P



S D  
K @ 3 K  
Y O U .  
J P

## 注意事項

### 安全上のご注意

#### ▲警告 人体への傷害や重大な物的損傷を防ぐために

- 人や動物の目・皮膚に直接照射しないでください。目の痛みや炎症を起こす原因となります。
- 装置の蓋を取ったり、分解・改造はしないでください。
- 本体を落としたり、強い衝撃を与えた場合は使用を中止し販売元までご相談ください。

#### ▲注意 商品の破損を防ぐために

- 本製品は防水仕様ではありません。  
水がかかる場所や湿度が高い場所での使用・保管はしないでください。故障・感電の原因となります。
- 濡れた手で、スイッチ、コンセントの抜差しは、おやめください。感電の恐れがあります。
- ランプ交換以外での分解はしないでください。誤作動、故障の原因となります。
- ランプは日本エコ照明社製 CCFL-UV ランプをご使用ください。他のランプを使用すると故障の原因となります。
- 落としたり、物をぶつけたり、無理な力を加えたり、キズを付けたりしないでください。
- 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。不点灯、短寿命などの原因となることがあります。

### ご使用上のご注意

- 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 照射対象物や、照射場所にかざしてから、電源を入れてください。
- 照射中は、歯減ライトシリーズの発光面を直視しないでください。
- 4時間以上の連続点灯は、できる限りお控え下さい。
- ご使用中は、目の保護の為にも、保護メガネ等を合わせてご使用下さい。
- 直射日光の当たる場所で長期保管しないでください。製品の変形や変色の恐れがあります。
- 製品が汚れた場合は、硬く絞ったタオルなどで拭いてください。(但し、CCFL-UV ランプには触れないようにしてください。)
- 製品のお手入れ際は、必ず電源を切ってから行ってください。
- 万が一、CCFL-UV ランプが破損したときは直ぐに電源を切り販売元までご相談ください。
- 交換後の CCFL-UV ランプユニットは、販売元までご返送ください。
- 長時間使用しない場合は、コンセントを抜いて保管ください。

### オゾンに関する注意事項

歯減ライトシリーズのオゾンは除菌・ウィルス不活性化・消臭効果を得る商品です。そのため人やペットなどの動物がない状態でのみご使用ください。また、ご使用後はオゾン臭が消えてから入室・乗車してください。オゾン臭が残っている場合は、十分な換気を行ってください。  
(換気のために入室・乗車しても短時間であれば影響はありません)

気中オゾンの生物への影響(参考)

| 濃度(ppm)   | 生物への影響                 | 備考                           |
|-----------|------------------------|------------------------------|
| 0.01～0.03 | ほとんど臭わない               | 自然界の日中濃度                     |
| 0.04～0.06 | さわやかな臭い、オゾンの臭いがある      | 海岸・山                         |
| 0.06      | これ未満は慢性肺疾患者の肝機能に影響なし   | オキシダント環境基準                   |
| 0.08      | 不快感がある。喉が痛い。目がチカチカするなど | 不快基準                         |
| 0.10      | 人体への影響(のど・鼻・目が痛い)      | 日本産業衛生協議会<br>許容勧告濃度 USA 環境基準 |
| 0.60～0.80 | 頭痛・せき・呼吸困難             |                              |

- 天然ゴム類は非常に高いオゾンに触ると劣化しやすいので、直接触れないようにご注意ください。
- 繊びやすい品物は非常に高いオゾンに直接触れると、繊が促進されますのでご注意ください。
- オゾンの酸化作用・漂白作用で装飾性を損なう恐れがありますので、貴金属製品など貴重品が保管されている所でのご使用は、お控え下さい。
- 皮革製品は基本的に影響ありませんが、一部質感が変化する場合がありますのでご注意ください。
- オゾン特有のにおいが気になる方、また使用中に頭痛など体調に変化を感じた場合は、使用を中止し、換気を行ってください。

|            |               |
|------------|---------------|
| 使用光源       | 冷陰極蛍光ランプ:CCFL |
| 使用波長       | UV-C(254nm)   |
| オゾンガス発生量   | 10～15mg/hr    |
| CCFL ランプ寿命 | 4,000 時間      |
| 入力電源       | USB タイプ C     |
| 消費電力       | 15W           |
| 使用周囲温度     | 5～40°C        |
| 使用周囲湿度     | 80 以下(結露なきこと) |
| 質量         | 700g          |



OPT INNOVATION

製造元

株式会社 オプトイノベーション

〒610-0043

京都府京田辺市大住池ノ端66-5

TEL 0774-64-7500

FAX 0774-64-7501

